

窒素を抑え環境ストレスに強い植物体を！

亜リン酸パワーで栽培革命！！！！

微量元素が配合されているため酵素活性を高めて生育を促進します！

プリベンタME

窒素 リン酸 加里
0-30-20

微量元素入り亜リン酸カリウム液肥

農林水産省登録 生第89567号

規格：1ℓ、10ℓ

+ マンガン 0.05%、ホウ素 0.25%、鉄、銅、亜鉛、モリブデン 配合！

亜リン酸で養分転流を促し収量増加！

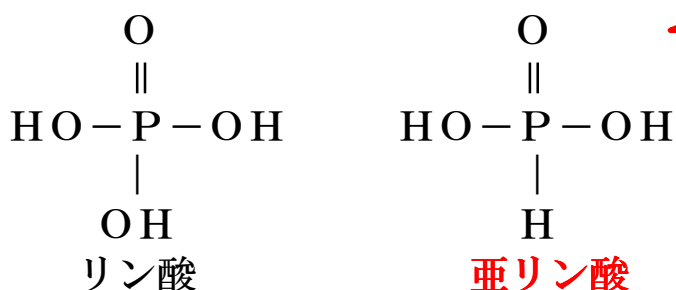


亜リン酸とは？

亜リン酸は通常のリン酸(H_3PO_4)に対し、分子中の酸素が1つ少ない(H_3PO_3)化学式で表されます。

分子量が小さいので根、葉面から吸収され易いことが特徴です。

◆リン酸と亜リン酸の構造式の違い



注目！

プリベンタMEを使用すると
発根が良くなり、活着が促進
されて環境ストレスに強くなる
力が養成されます。

特徴・効果

- ・発根・活着が促進されて肥料の吸収が良くなり、環境ストレスに強くなる力が養成されます。
- ・徒長抑制、着果・結実の促進、果実の肥大促進に有効です。
- ・低温時、天候不順時の使用は特に効果が表れます。

使用方法

500～1000倍に希釈し、散布間隔は1週間以上空けて葉面散布して下さい。
農薬混用時は1000倍程度に希釈して散布して下さい。

プリベンタMEの作物別使用方法

	作物	目的	散布濃度(倍)	散布時期
育苗	果菜類 葉菜類全般	徒長防止、健苗育成、光合成促進	500-1000	1. 5～3葉期から 定植まで10～14日おき
本圃	イチゴ	品質の向上、花芽分化促進	500-1000	定植後(10～14日おき)
	トマト	品質の向上	500-1000	定植後(10～14日おき)
	ピーマン	品質の向上、果実中の未消化窒素の低減	500-1000	定植後(10～14日おき)
	ウリ類(キュウリ、メロン、 スイカ、カボチャ等)	花芽の充実、着果促進、肥大促進 糖度アップ	500-1000	着蕾期から10～14日おき
	茎菜類(アスパラガス)	根株の充実、養分転流促進、増収	500-1000	収穫期(10～14日おき)
	みつば、みぶな、ねぎ類等	品質の向上	500-1000	定植後(10～14日おき)
	ハウレンソウ、レタス、 キャベツ、白菜、ブロッコリー	品質の向上	500-1000	定植後(または本葉2～3枚時頃 から)10～14日おき
	豆類(小豆、いんげん等)	着果促進、莢数増加、品質の向上	500-1000	定植後より着蕾期後期まで 10～14日おき
	根菜類(ニンニク、人参、 パレイシヨ、タマネギ等)	肥大促進、品質の向上	500-1000	肥大初期から7～14日おき
	長芋、甘藷	養分転流促進、肥大促進、ツルボケ抑制	500-1000	根部肥大初期から 7～14日おき
	ブドウ	糖度アップ、品質の向上、着色促進	500-1000	開花初期 果実の実止まり 時期から収穫2-3週間前まで
	果樹 (リンゴ、梨、サクランボ等)	品質の向上(糖度アップ等)	500-1000	新葉の展開時期から30日おき
	果樹(柑橘類)	花芽分化・着果促進、花芽の均一化	1000-2000	収穫直後 花芽分化時、徒長枝の出やすい時期
	花き類	品質の向上	500-1000	生育期全般(10～14日おき)
	花き類(キク)	消灯後の花芽の充実、茎を硬くする 色上がりの向上に	500-1000	消灯後から (わい化ホルモン剤との混用可)
	芝	根の活性化	500-1000	春先、夏から秋にかけて 2～3週間おき

使用上・保管上の注意

- ・アルカリ性農薬や石灰硫黄合剤、銅剤との混用及び、近接散布は避けて下さい。
- ・夏季の高温時等、不適と思われる条件での使用は避けてください。
- ・直射日光、高温多湿を避け、乳幼児の手の届かない場所で保管して下さい。

お取り扱いには

アグリワークス株式会社

〒343-0041

埼玉県越谷市千間台西4-14-22

TEL/048-975-0380 FAX/048-933-9221